

SQ lab - a name from ancient greek mythology



SQ lab

SPORTS ERGONOMICS

アスクレピオス(ドイツ語:アスクーラップ)は古代ギリシャ神話に登場する医術の神です。
アスクレピオスは蛇が絡んだ杖を持ち、その蛇はやがて医療のシンボルとなり蛇と杖のマークは
こんにちでも多くの医療機関や製薬会社で使用され目にすることがあると思います。

SQLabでは医療専門家とともに、サイクリングにおける人間工学とライダーの健康を強く意識して製品を開発しており、
長年にわたる最高レベルの研究開発によって大きな成功を収めています。

～安心して10年、20年、より長くサイクルスポーツを楽しめますように～

History

1992年 Tobias HildがミュンヘンにてAmazing Toysという名称のブランドでMTB用パーツの販売を開始します。
当時Tobias Hildはモトクロッサーを駆り、MTBでダウンヒルにも熱中していました。しかし、不運にも大きな事故に遭遇し負傷して
しまいます。回復後もライド中にしびれを感じるようになってしまいました。
それがきっかけで人間工学への興味が湧き、2002年自転車に精通している泌尿器科医のStefan Staudte博士と知り合います。
博士にそのしびれについて相談することで解剖学の詳細な知識に触れ、自身が抱えるような問題を解決する製品が市場には必要だ
と気づき、製品を開発する糸口に繋がりました。
座骨間距離の計測に着眼し、Stefan Staudte博士と共にサドル
メーカーとして世界で初めてサドル計測システムを開発しました。
それは現在いくつかの他のメーカーでも採用されています。
同年、前立腺患者向けに開発された分割サドル「Hobson
asyseat」の販売を開始。
2003年正式に社名をSQLabとし会社を設立します。



Riders

SQLabは多くの選手・チームなどのプロサイクリストをサポートしフィードバックを得ています。
選手・チームのカテゴリーはマウンテンバイクの各ジャンル、ロード、トライアスロンなど多岐に渡り、得たフィードバックは製品開発の
ヒントとなっています。
SQLabは、医療の専門家とともにサイクリストの健康を守り長年にわたりサイクルスポーツを楽しめる製品の開発を行っていますが、
同時にレースのシーンでもアスリートから要求され勝利に繋がられるための性能も併せて追求しています。
快適に日々の自転車に乗るための製品、競技において正確に自転車をコントロールし、パワーを伝えるための製品と、幅広く揃えており
自転車を楽しむすべての人々がライディングに満足できることを願っています。



西窪 友海
Trial & Freeride



Brian Lopes
All disciplines on two wheels



Hans Rey
Adventure, Trial, Freeride and
Ebike



ERGOWAVE

ERGOWAVE® シェイプ-

フランクフルト大学病院とフランクフルト応用科学大学との共同研究プロジェクトで開発されました。このプロジェクトはドイツ連邦経済エネルギー省からの政府資金援助を受けています。この研究により身体の構造の深部で発生する力と、サドルへの最大荷重を計算することができました。その結果、ロードバイクやマウンテンバイクにおいて人間工学的によりアグレッシブなライドを実現する新しいサドル形状「ERGOWAVE」が誕生し、すべてのテストの最大荷重においてトップスコアを獲得しました。



PERFORMANCE

PERFORMANCE シリーズ-

レースで勝つ条件は、その環境下においてより快適であり不快感が無く、バイクとの高い一体感が得られたときです。

完璧なフィット感は推進力を生体力学的に最適化し、パワーを変換するために必須な条件です。

”風の抵抗を避け、地球からの引力を弱めること”

レーサーとしてこれは最大限の効率を得るための前提条件です。

鍛え抜き研ぎ澄まされたアスリートたちの勝敗を決するのは過剰とも思える細部の優位性です。



医学博士と共に 設立されたブランド



Stefan Staudte 医学博士

泌尿器科医・スポーツ医学エキスパート

ミュンヘン、ルートヴィヒ・マキシミリアン大学で医学を学ぶ。南アフリカ・ステレンボッシュ大学外科クリニック、エルディング地区病院外科、ミュンヘン・ハーリング市立病院外科で外科研修を受ける。1998年博士課程修了。ミュンヘン大学グロスハーデルン病院泌尿器科の助手および研究員。ミュンヘンLIFEセンター (LMUミュンヘン泌尿器科クリニックレーザー・免疫研究施設) の臨床研究グループ (KFG) の共同研究員。ミュンヘン大学泌尿器科クリニックの人間医学コース臨床学期泌尿器科コースリーダー兼講師。2001年泌尿器科専門医試験に合格し2002年1月より、泌尿器科医およびフリーランスの科学者として手術入院部門を持つ合同泌尿器科診療所で、泌尿器とスポーツに特化した診療を開始。

様々な臨床試験および観察研究へ参加 (例: デュタステリド第III相試験、ゴセレリン、アルフゾシン、フィナステリド、リュプロレリンADB、各種PDE-5阻害剤ADBなど)。1998年から2002年まで、ミュンヘン、ルートヴィヒ・マキシミリアン大学で、人間工学に基づいた自転車用アクセサリ、特に自転車のサドルを研究・開発。2003年 Tobias Hild とともに SQLab を設立。



「ステップサドル形状」

SQlabのサドルは、”ステップサドル”と呼ばれる基本デザインで設計されています。上図のような形状で、前端部分と後端に高低差があります。

ステップサドルの利点は、低いノーズによって前傾姿勢をとった際に血管・神経への圧迫を避ける形状となっています。

後方の高くなっているセクションはライダーを支え、より確かなペダルへのパワー伝達を可能にします。

人間が座るとき、座骨は体重を支え強い圧力に耐える機能を備えています。サドルに座る際も同様に体重を支えますが、特に前傾姿勢を伴うスポーツバイクの場合は会陰部・恥骨にも体重がかかります。



会陰部の神経と血管のネットワークは、肛門から生殖器を經由して上部の恥骨弓に達します。これらへの荷重は避けることが望ましく、ステップサドルのノーズを低くしたデザインは、その圧力を軽減できます。

もしライド中にその圧迫が続くとライダーはしびれを感じ、また長期間にわたり継続的な頻度で起こることで機能障害や健康を害する原因に繋がります。

サポート
荷重の支持

リリース
会陰部・恥骨等の神経圧迫を回避

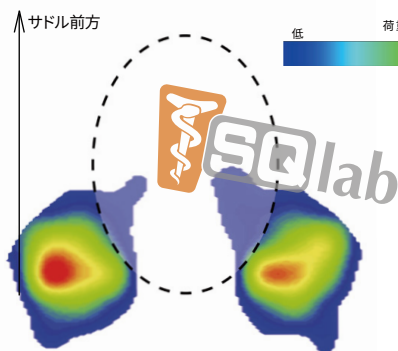


前傾姿勢をとった際に生じる圧迫を回避する大きなくぼみ

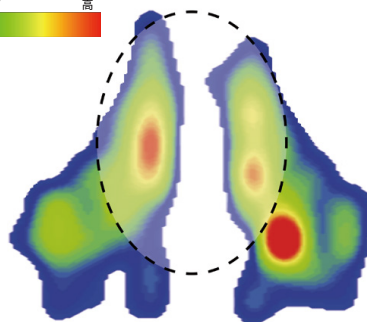
プレッシャーを発生させずに体が接触するフラットエリア

ステップサドル形状により圧迫を回避し、高いパワー伝達効率を実現。低いノーズはスリムな幅で、脚が接触することもなくペダリングの妨げになりません。

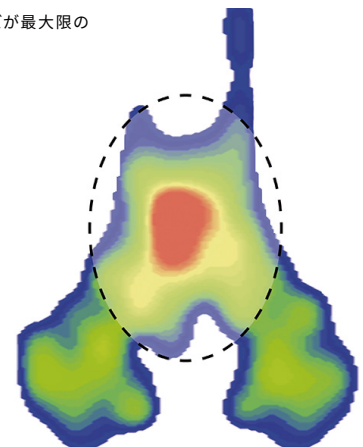
フラットで下がったノーズが最大限のリリースを提供します



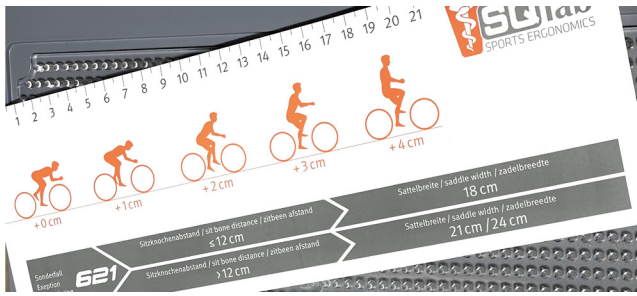
SQlabサドルでの圧力分布の様子。座っている座骨部分で強い圧力が発生しますが、神経や血管が集中する会陰部、恥骨部分では圧力がかかってません。



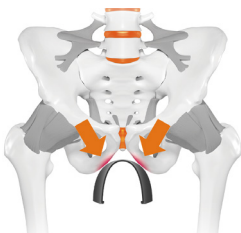
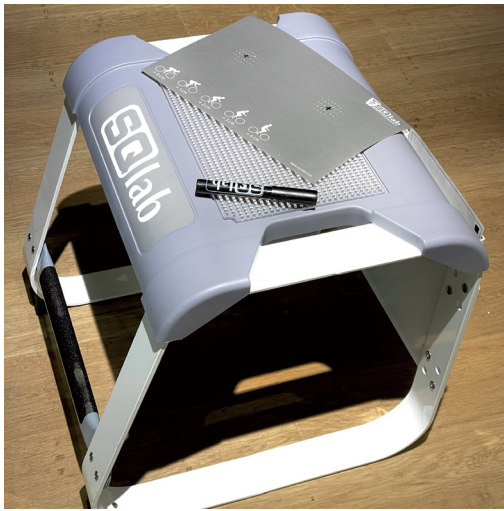
中央に穴もしくは溝があるサドル。会陰部には圧力がかかっていないものの、溝の縁に高い圧力が発生しています。



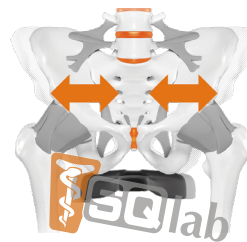
サドルトップがフラットの形状。神経・血管が集中する会陰部分に高い圧力が集中。神経経路の損傷や、血流量の減少に伴い組織への酸素供給が不足する可能性があります。



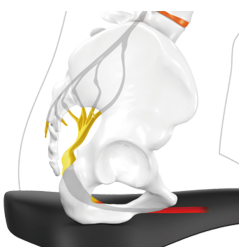
SQLabは座骨の幅を測定し、前傾姿勢に合わせたサドルサイズを選ぶことが重要です。また、このコンセプトを開発した世界で最初のメーカーでした。座骨間距離を測定し、バイクの乗車する際の前傾姿勢に合わせて、実測の座骨幅に数値プラスしサイズを選択します。TTポジションのように極めて前傾がきつい姿勢の場合は+0cm、上半身がやや起きたリラックスポジションでは+3cmといった具合です。座骨間距離は基本的には性別や体形によらず個人によって異なります。SQLabの製品群は男性用と女性用で区別はありません。あくまでも計測した数値に基づいてサドルサイズをお選びください。



座面がラウンドしている、座骨が乗る部分が狭い、といったサドルは本来圧力に耐えられる座骨ではない部分がプレッシャーを受け、血流を滞らせたり神経に圧迫を生じさせる可能性があります。またペダリング時に骨盤は安定性を欠き、自然な動作の動きも難しくなります。



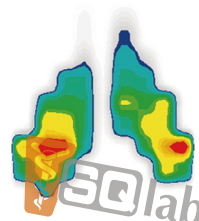
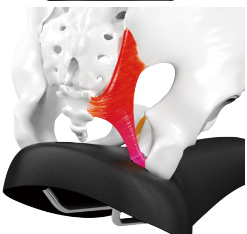
座骨の幅に合った適切なサイズのSQLabサドルでのライドの場合、座骨が本来持つ機能がはたらく、大部分の体重が座骨にかかり会陰部の血管や神経を圧迫してしまうことを回避します。



座面がフラット、クッションが柔らかく厚いサドルの場合、サドルに対し骨盤が大きく沈み込み広い範囲でプレッシャーが生じます。会陰部・恥骨部分の重要な血管、神経を圧迫するのみならず深部の腱や筋肉、敏感な軟部組織が刺激を受け、鈍く深い痛みにつながります。



また、適切な場所に安定する骨盤はより確かなパワー伝達と安定したスムーズなペダリングを可能とします。



クッションは適度な硬さを持ち、沈み込みは最小限に抑えられます。クッションからプレッシャーを受ける面積を極力少なくすることが可能。

Active2.1 テクノロジー



ペダリング時の足の動きに合わせて骨盤の生理的な動きを可能にし、可動範囲を拡大します。椎間板や関節への負担を軽減することができます。

3種類の固さのエラストマーが付属しますので、体重に合わせて交換することができます。

エラストマーの対応体重: ソフト(ホワイト) ~70kg
ミディアム(グレー) 70~80kg
ハード(ブラック) 80kg~

Infinergy® クッション



ランニングシューズでおなじみのBASF社製Infinergy®素材を一部モデル(made in Germany 製品)のクッションフォームに採用しています。

非常に頑丈で優れた減衰特性を備え、高弾性であり衝撃によって変形したクッションは素早く元の形状に戻ろうとし、優れた衝撃吸収性を持ちます。

Swiss Carbon レール



より高品質なスイスメイドのカーボンレール。

一般的にカーボン繊維製品は多くの手作業による手間を要するため高価格の傾向となり、それを抑えるために低コストの地域・工場で生産されることが多い。SQlabはMade in Germany製品の生産ロケーションを活かし、隣国スイスの最高設備において手作業+オートメーションで生産される最高品質のカーボンパーツの調達が可能。

Carbon レール



強度と軽量を両立したカーボンレール。

金属レールを採用したサドルと比べ飛躍的に軽量化を図ることができます。サドルを軽量化することでバイクの重心は下がり、より安定したライドが可能になります。

S-tube レール



ステンレスをベースに様々な金属を配合した合金で、最高の性能を発揮するための特殊な表面処理を施した中空チタンレールと同等の性能をもつレールです。

軽さに加え、強さと柔軟性を兼ね備えます。

Cr-Mo レール



クロモリ合金の中空レール。

十分な強度をもち、最大限のコストパフォーマンスをもたらします。

For MTB & E-mtb

オーエックス

Saddle 60X Infinergy® Ergowave active

Width : 13cm 14cm 15cm wight : 250g~(エラストマーなし) ¥34,100

Rail : S-tube Length : 280mm



Made in Germanyで最新素材を使用。厳格で高い生産効率を求めるドイツの有害物質に関するガイドラインにも準拠。E-MTBでの長く険しい上り坂に最適なサドルであると同時に、ペダルバイクでも最適な安心感を得られます。ライダーは体力を消費する姿勢をとる必要がなくなり、すべてのエネルギーを推進力として利用できるようになります。ペダリングに合わせてサドルがスイングするアクティブテクノロジーを搭載、よりソフトでスムーズな乗り心地のみならず、骨盤の生理的な動きを可能にし腰椎下部の疲労蓄積を予防します。



※表示の価格は全て税込価格となります



ERGOWAVE



Saddle 611 Infinergy® Ergowave active 2.1 Carbon

Width : 13cm 14cm 15cm wight : 199g~ (エラストマーなし) ¥36,300

Rail : Swiss Carbon (7x9 mm) Length : 282mm

60X Infinergy activeで好評の高クッション・高反発のInfinergy® クッション採用の611モデルが登場。トップカバーは必要な部分にのみ補強テープを圧着し、剥がれません。レールはより精度の高いスイスメイドのカーボンを採用し、信頼性と軽量化を高い次元で実現。左右にスイングするアクティブテクノロジーを採用しながらも199g(エラストマーなし)から、という軽量を達成。Maid in Germanyの最高品質サドル。



ERGOWAVE

Saddle 611 Ergowave active 2.1 ltd. S-tube Fair on Trails

Width : 13cm 14cm 15cm wight : 215g ~ (エラストマーなし) ¥26,400

Rail : S-tube Length : 280mm

ドイツ全土でトレイルの保護と創造の活動をする団体”ドイツ・マウンテンバイク・イニシアチブ”のデザイン。自然と社会の調和を考慮しながら、マウンテンバイク競技、トレイルの自由な利用を支援しています。

エルゴウェーブコンセプトによる後方サポートと最適な圧力配分を保証し、ペダルへのパワー伝達を改善します。低くなっているサドルノーズは、中央のくぼみと相まって性別に関係なく会陰領域のためのより大きいスペースとクリアランスをキープします。アクティブサドルテクノロジーによってサドルはペダリングの動きに追従し動き、快適性の向上、椎間板への負担を減らします。



ERGOWAVE

Saddle 611 Ergowave CrMo

Width : 12cm 13cm 14cm wight : 244g ~ ¥15,400

Rail : Cr-Mo Length : 280mm

クロモリレールを採用するスタンダードなMTB用サドルです。SQlabのアイデンティティであるステップサドル形状のデザイン。

サドルノーズはロードモデルと比較すると若干広めになっており、より幅広いライドポジションが選べます。クッションの固さはロードモデル612より若干柔らかくなっています。



Saddle 611 Ergowave Fabio Wibmer



Saddle 60X Trial Fabio Wibmer

Fabio Wibmer series

11page

For Gravel road



Saddle 614 Ergowave active2.1 S-tube

Width : 12cm 13cm 14cm 15cm wight : 215g ~ (エラストマーなし) ¥26,400
Rail : S-tube Length : 275mm

611 (MTB用) と 612 (ロード用) の長所を兼ね備えた SQlab 初のグラベルロード用サドル。
612 同等の細いサドルノーズがペダリングをする脚のクリアランスを確保し、柔らかめの 611 の
クッションを使用、オフロードトレイルで最大のクッションと快適性を提供。アクティブテクノロジー
を搭載し、椎間板を可動させることでさらなる快適性を提供します。
サドル後部にはケブラーガードを使用し不意の転倒でトップカバーが破れてしまうことを防ぎます。



For Road



Saddle 612 Ergowave Carbon

Width : 12cm 13cm 14cm wight : 150g ~ ¥31,900
Rail : Carbon (7mmx9.6mm) Length : 275mm

ロード向けモデル 612 の上級軽量グレードでカーボンレールを採用。
固めで適度なボリュームのクッションは長時間のライドでも快適に過ごすことができます。エルゴウ
ェーブコンセプトによるデザインで快適性とより優れたパワー伝達効率でロングライドやレースがも
っと楽しいものになるはずですよ。



Saddle 612 Ergowave S-tube

Width : 12cm 13cm 14cm wight : 196g ~ ¥23,100
Rail : S-tube Length : 275mm

ロード向けモデル 612 のスタンダードグレードで、コストパフォーマンスに優れた S-tube レール採用。
よりお手軽にステップサドルの性能を楽しむことができます。
ひとまず SQlab サドルのテクノロジーを試してみるのに最適なモデルです。





Saddle 612 Ergowave active2.1 ltd. S-tube WardySpecial TroyLEE

Width : 12cm 13cm 14cm 15cm wight : 211g~ (エラストマーなし) ¥25,300
Rail : S-tube Length : 275mm

ジェフ・ウォードシグネチャーデザイン。イギリス系アメリカ人の元プロモトクロスレーサーで、カーレーサー、オフロードレーサーでもある。AMA モトクロス選手権で5回、AMA スーパークロス選手権で2回、モトクロス・デ・ネイションズで7回の優勝を獲得しています。

搭載されたアクティブサドルテクノロジーはサドルがペダリングの動きに追従し動き、快適性を向上させ、椎間板への負担を減らします。



ERGOWAVE PERFORMANCE

Saddle 612 Ergowave R Carbon

Width : 12cm 13cm 14cm wight : 125g~ ¥37,400
Rail : Carbon Length : 252mm

軽量エルゴノミクスサドル 612ErgowaveR の最上位グレード、カーボンレール仕様です。まさに決戦用サドルとなり得ますが、強化繊維プラスチックのサドルベースの剛性は高く、短期集中のスプリントパワーもしっかり受け止めます。

クッションは最低限となっています。SQlabのショーツ SQ-Short ONE12と併せてご使用いただくことをお勧めします。



ERGOWAVE PERFORMANCE

Saddle 612 Ergowave R S-tube

Width : 12cm 13cm 14cm wight : 165g~ ¥25,300
Rail : S-tube Length : 252mm

612から最低限のものを残し削ぎ落としさらに軽量化した612R。

モデル名に”R”を冠し、より競技色が濃いサドルです。

ヒルクライムやクリテリウムなど比較的競技時間が短いシーンで活躍が間違いないサドルです。サドルノーズは短くなっておりクッションも最低限となっています。SQlabのショーツ SQ-Short ONE12と併せてご使用いただくことをお勧めします。



For Triathlon



ERGOWAVE PERFORMANCE

Saddle 613 Ergowave R S-tube

Width : 11cm 12cm 13cm wight : 230g~ ¥29,700
Rail : S-tube Length : 249mm

非常に軽量でありながら十分なクッションを備え、パッドが薄いライスーツでのライドでも快適にレースに臨めます。クッションはロードモデルと比べて柔らかめになっています。エルゴウェーブコンセプトに基づくデザインによりパワー伝達効率とペダリングのしやすさは保証され、より長時間に及ぶトライアスロンにおいても会陰部への圧迫を懸念する必要はありません。サドル後端には専用のボトルケイジアダプターを装着することができ、安定してボトルを固定することができます。



613 R integrated bottle holder

material : stainless steel color : silver wight : 90g ¥7,260

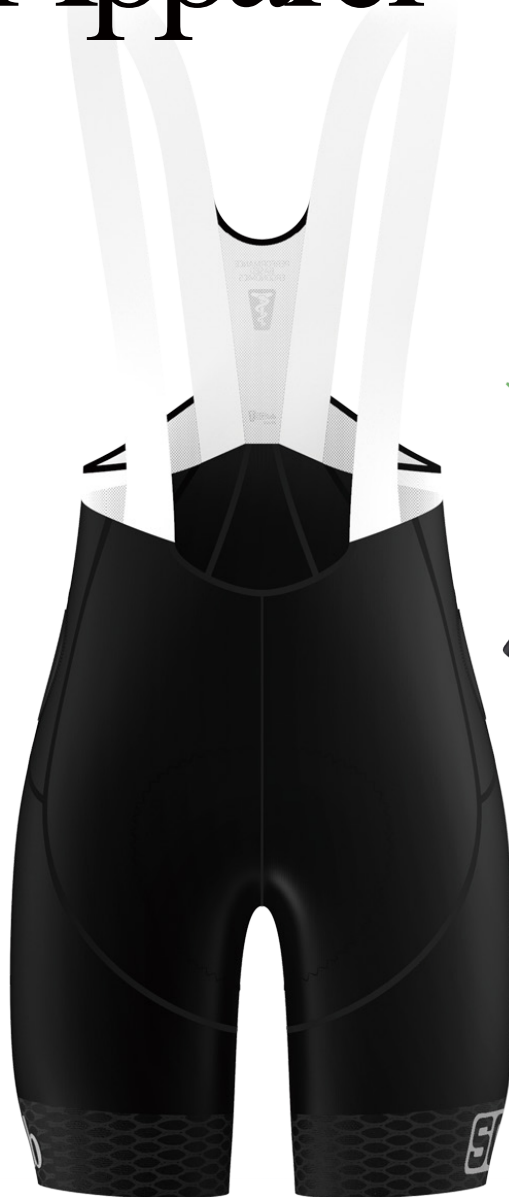


613 Ergowave R サドル専用のボトルケイジアダプターです。サドルの専用台座にボルト2本で固定することで、より安定して固定することができます。3か所のボトルケイジ固定台座があり、センターに1つもしくは左右に2つの取付が可能です。収納したボトルは進行方向に傾き、ボトルの取り出しも格段に容易になります。最大積載量1.5kg



※表示の価格は全て税込価格となります

Apparel



SQ-Short ONE12

Size : S M L XL Pad : SQ pad 4mm厚

¥31,900

Material : 65% Nylon 35% Elastane

多くの分厚く柔らかい、いかにも快適なクッションのパッドとは大きく異なるSQ-padは、厚みは4mmと薄く、とても固いパッドです。SQlab独自のこのセンセーショナルなパッドは、ペダリング時に発生する不快なパッドへの沈み込みが無く不意な変形がありません。極薄のパッドは、走行距離が長くなるほどに体にフィットしより快適になります。



SQ-pad はなぜ硬くて薄いのか？

柔らかすぎるサドルは、通常30～45分ほど自転車に乗ると非常に不快になります。座骨が沈み込みすぎて、筋肉や腱などの敏感な軟部組織に悪影響が発生し深く鈍い痛みが生じます。また、座骨が沈み込むことで男性の場合は会陰部、女性の場合は恥骨弓の下側に高い圧力がかけられます。特に柔らかいパッドは、より血流が滞る原因になります。

問題なのは、私たちは固めてスリムなサドルに乗っているにもかかわらず、レーサーパンツに通常よく使用される厚手のとても柔らかいパッドで再び柔らかいサドルを作っている、ということです。

柔らかいサドル(硬いサドル+柔らかいパッド)は、体が沈み込むことで血流の停滞、圧迫・摩擦の増加を再び引き起こします。

SQlabパッドテクノロジーは上記の悪影響の排除に成功し、長い年月を経て私たちは人間工学的に高品質で硬く薄くしっかりした特性を持つパッドを開発しました。



PERFORMANCE

size (cm)	S	M	L	XL
ウエスト	81-85	85-89	89-93	93-97
ヒップ	94-98	98-102	102-106	106-110
股下	80-82	82-84	84-86	86-89

※表示の価格は全て税込価格となります

Fabio Wibmer series

Saddle 611 Ergowave Fabio Wibmer

Size : 12cm 13cm 14cm wight : 195g ~
 Rail : S-tube Length : 280mm

¥23,100

S-tubeレール使用のMTB向けモデル611 Fabio仕様です。



Saddle 60X Trial Fabio Wibmer

Size : one size Weight : 195g
 Rail system : Tripod® system Length : 225mm

¥7,260

シートポストへの固定方法はTripod®システムを採用します。



Handlebar 30X Fabio Wibmer

Width : 800mm Rise : 25mm wight : 235g ¥35,200
 Material : Carbon Clamp : 31.8mm Back sweep : 7°
 Up/Down sweep : 4°/0°

ハンドルバーに関して、優れた安定性と適正なバックスイープはFabioの最優先事項です。30X Fabio Wibmerはプッシュ・プル方向に補強されています。特に、通常引張り方向は高負荷に弱いので補強を強くしています。バックスイープはハンドルバーが上半身に近いほど小さくなりますが、30X Fabio Wibmerは7°の設定になっています。



Handlebar 30X Trial Fabio Wibmer

Width : 730mm Rise : 84mm wight : 330g ¥17,600
 Clamp : 31.8mm Back sweep : 9° Up/Down sweep : 5°/0°
 Material : Aluminum

84mmのライズにより通常のハンドルバーよりもフロントエンドが大幅にアップし、80X Trialステムとの理想的なパートナーとなっています。この組み合わせによるコックピットの高さは、体の重心を無理なく後輪に移動させ、パニーホップなどのトリックに適した "ポップ" を生み出すことができます。



Stem 80X Fabio Wibmer

Length : 35mm Angle : 6° Stack Height : 32mm ¥15,180
 wight : 138g Clamp : 31.8mm Clamp width : 50mm
 Bolt : Steel

※写真のトップキャップとコラム引き上げボルトは付属しません。



Stem 80X Trial Fabio Wibmer

Length : 90mm Angle : 35° Stack Height : 38mm ¥7,260
 wight : 145g Clamp : 31.8mm Clamp width : 40mm
 Bolt : Steel

※写真のトップキャップとコラム引き上げボルトは付属しません。



Grip Fabio Wibmer 70X

Size	Length	Range	wight	¥5,060
S	134.8mm	96.8mm	132g	
M	134.8mm	101.4mm	155g	



Handlebar



パートップのグリップエリアとの組合わせにより持ちやすいブラケットエリア

新開発のドロップハンドルはMTB用のハンドルバーとは対照的に、端にいくにつれ前側に2~10°のスイープ角を設定しています。肩幅よりも狭い両手の間隔でトップバーを握る際、バーを握る手首の角度をより自然にするためです。

わずかに角ばった厚みのあるグリップエリア。裏面はわずかに湾曲しており指先がびったり収まります。

外側をフラットにし、アグレッシブなポジションを取った際にもストレスなくしっかりバーを握ることができます。

Handlebar 312 R Carbon

Width : 380mm 400mm 420mm wight : 235g~ ¥47,300
 Material : Carbon Clamp : 31.8mm Clamp area : 40~50mm
 Reach : 80mm Drop : 120mm Flare : 1.5°



PERFORMANCE

narrower than shoulder width wider than shoulder width
 ← Frontsweep Backsweep →



トップバーのグリップエリアのエルゴ形状



下ハンドル外側のグリップエリアのフラット加工

フロントスイープ- 指がしびれる原因の多くは手首の伸びすぎによる場合が多くみられます。ニュートラルな姿勢では手首はまっすぐになりますが、MTBのハンドルを握るときなど肩幅より広い腕の位置では、バックスイープで手首の伸びすぎを防止します。

しかし、肩幅以下の位置では、バックスイープの角度ではさらに手首が伸びてしまいます。312Rバーでは、前腕から手首への移行をまっすぐにするために、フロンスイープを10°に設定しました。



Bar Tape 712 / 712 RUH Ltd.



Length : 2000mm Width : 30mm
 wight : 125g Material : Elastomer

¥3,630

※表示の価格は全て税込価格となります

Inner Barends

Innerbarends 411 R Carbon

Material : Carbon Clamp : 22.2mm wight : 40g ¥22,000

ハンドルバーのグリップより内側にセットし、ハンドルを握る腕の開きを肩幅に近づけることができます。インナーバーエンドを握ることで、風の抵抗を軽減しかつ腕の筋肉の緊張を和らげることができ、リラックスしたライドが可能になります。地形の変化が少なく、単調な路面状況において体力の温存に効果的です。カーボン素材で極めて軽量です。



PERFORMANCE



グリップ70X、グリップ711に取り付け可能

※グリップにインナーバーエンドを取付する際は①クランプリングと②スペーサーを取り外します。

Innerbarends 411 2.0

Material : 強化繊維プラスチック Clamp : 22.2mm
wight : 56g ¥6,380

超軽量カーボンインナーバーエンド411Rがシンプルにそして高機能にモデルチェンジしました。素材はカーボンから強化繊維プラスチックになり重量は増しましたが、411Rと同様のシェイプとなっています。

取付はこれまで通りハンドルに直接クランプすることも、SQlab製グリップ(70X、711のみ)に統合して装着することも可能です。



Innerbarends 410 2.0

Material : 強化繊維プラスチック Clamp : 22.2mm
wight : 104g ¥6,380

インナーバーエンドを生み出したSQlabのスタンダードインナーバーエンド410がより高機能になりました。ボリュームがありしっかりと握ることができるデザインはそのままに、SQlab製グリップ(70X、711のみ)に統合して装着することができます。これまで通りハンドルバーに直接取付することも可能です。



Comfort grip & Performance grip

ウィング形状のグリップ702と710が
解決する神経の圧迫

①手根管内圧力の緩和

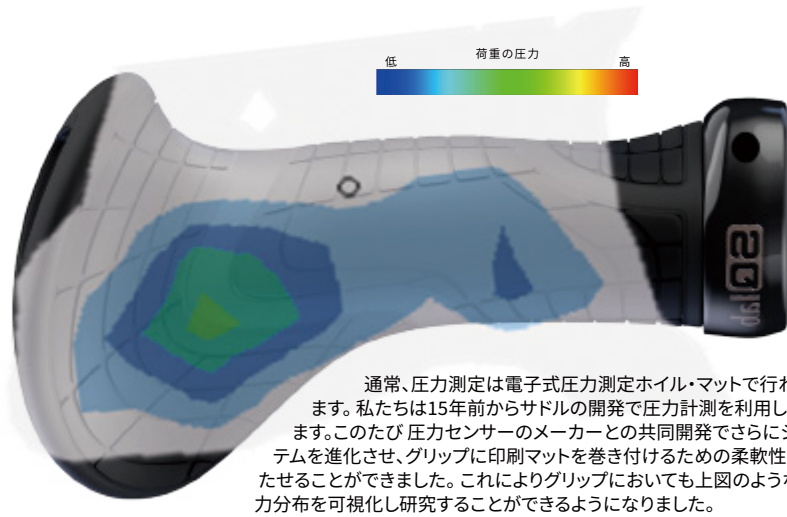
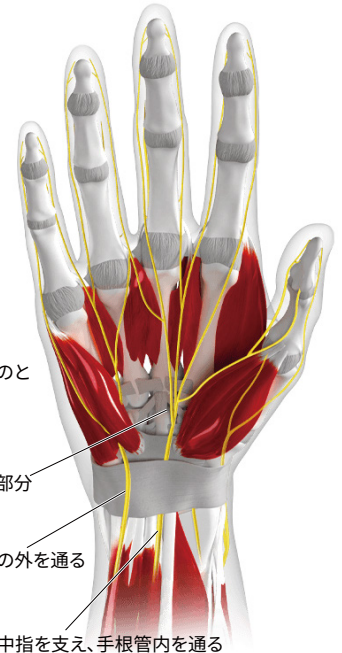
神経が集中する手根管出口付近に強い圧迫を長時間与え続けると、手根管症候群などの問題を引き起こす原因になります。荷重を受けるフラットなウィング形状は手根管出口付近の圧迫を軽減し、手のひらのより外側に圧力を分散します。

②尺骨神経圧の緩和

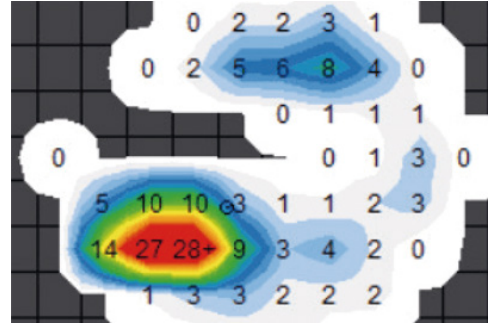
最大圧力は通常、手のひらの外側で発生することがわかりました。圧迫面積が小さいとプレッシャーはより強くなり、小指・薬指に到達している尺骨神経が圧迫を受け、痺れや神経損傷の原因になり得ます。

③正中神経

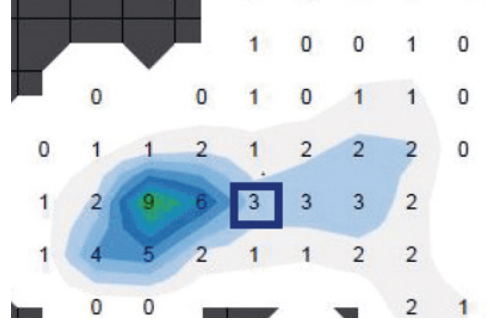
手首のねじれ、または手首が横方向に伸長しすぎると、引っ張られて手根管は狭くなります。ホースが曲がって水が出にくくなるのと同じで、狭くなった手根管内で正中神経が圧迫を受け、痺れ・神経損傷の原因となります。



円筒形のグリップ



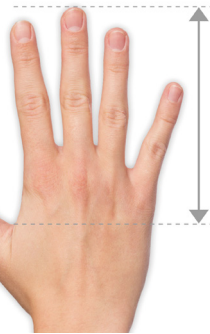
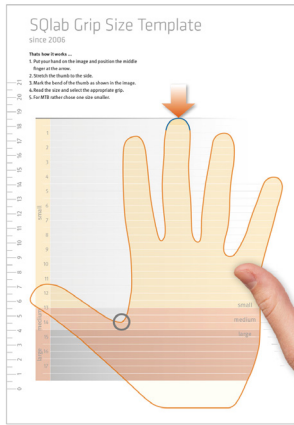
SQ 702 グリップ



ライズアップエンド

グリップエンドの盛り上がり手が手の側面を拾い上げ、支えます。その結果、圧力が広い面積に分散されます。

※表示の価格は全て税込価格となります



SQlabのグリップはサイズ展開があり、指の長さを基準に計測します。上記QRコードよりサイズシートのPDFをダウンロードできますが、壁に指先を当てて親指の股までの距離を実測し計測できます。

Grip 702

Size	Length	Range	wight	¥6,380
S	139.1mm	108mm	215g	
M	143.6mm	110.8mm	225g	
L	145.8mm	123.7mm	255g	

グリップ702と710は非常に大きな領域で圧迫分散できます。よって最大圧力は同等の人間工学グリップよりも約25%も低い数値が得られます。手根管出口において、702は通常の円筒形グリップに比べ約半分以下に減らすことができます。エンド部分の盛り上がりは、グリップを握ったときに手首をより自然な角度に調整してくれます。



Grip 710

Size	Length	Range	wight	¥6,050
S	136.8mm	102.6mm	165g	
M	139.1mm	106mm	180g	
L	145mm	115.2mm	205g	

圧迫の圧力分散は702よりも若干劣りますが、通常のエルゴグリップに比べると優秀です。手根管出口での圧力は、手の外側の最大圧力のおよそ三割と低く、神経への圧迫は十分に緩和できます。702に比べ軽量ですので、よりスポーティーさをお求めの場合は710をチョイスしてください。

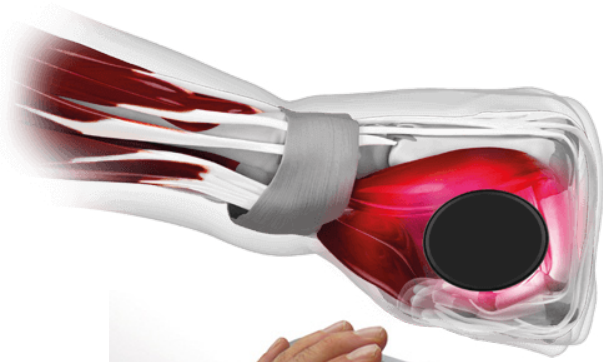


Size	Length	Range	wight	¥8,580
S	155mm	100mm	268g	
M	155mm	105mm	284g	
L	155mm	110mm	328g	

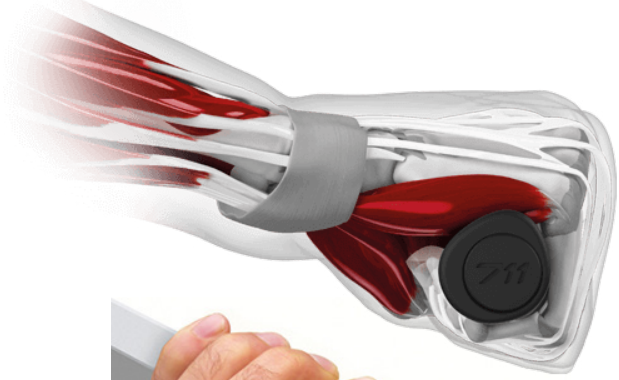
Grip stuby

Stuby®の大きな利点は、エンド部分にあるバーによって中心から遠くを掴むことができます。典型的なバーエンドの利点ですが、エンドバーは掴む指・手のひらがよくフィットできる形状になっており、一体型である恩恵が享受できます。





丸型：滑り、グリップしにくい



角度のある2平面：より確かなグリップ

円形のグリップが提供できる把持力は限定的であり、場合によっては集中的な高いプレッシャーを手のひらに与える原因となる。

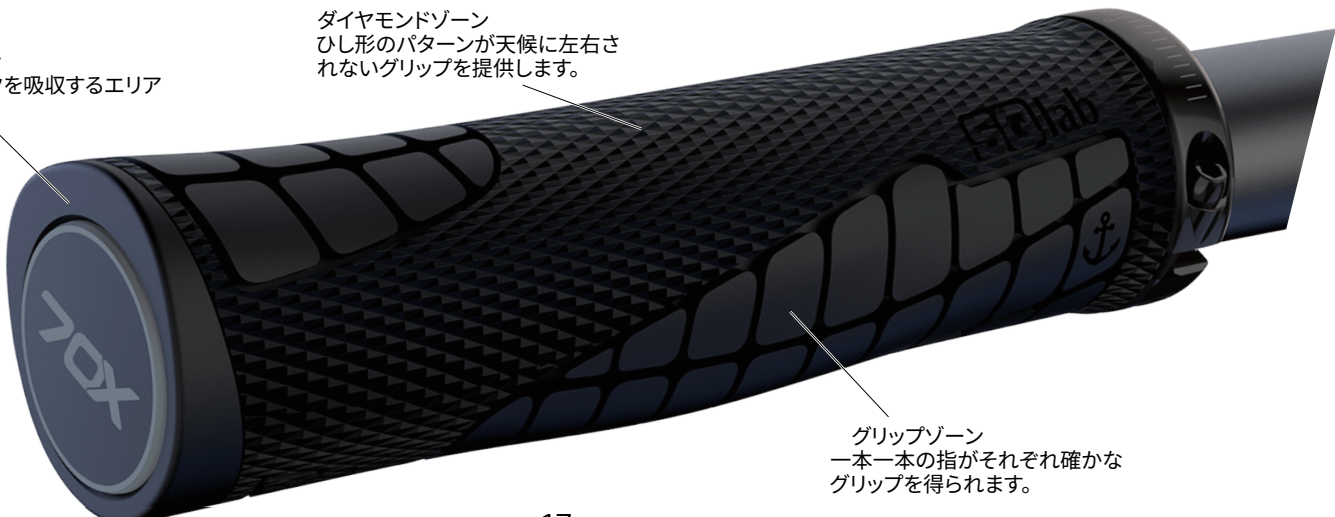
人間の指は関節で曲がり、握った手のひらは多角形を描く。わずかに角ばった形状のグリップは、その形状に自然とフィットし、より確かな把持力を提供できる。



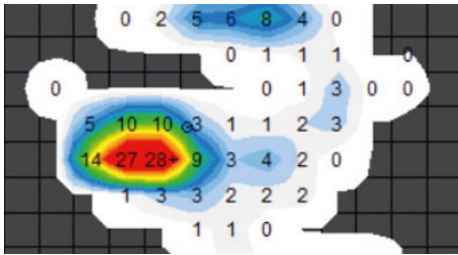
人間の指はそれぞれ長さが異なり、関節の位置も違います。その微妙なカーブに合わせた形状を持つわずかに角ばった形状の70Xと711は、より最適なグリップとクッションを得られ、天候などのコンディションに左右されないパフォーマンスを発揮できます。

コンフォートゾーン
より最適にショックを吸収するエリア

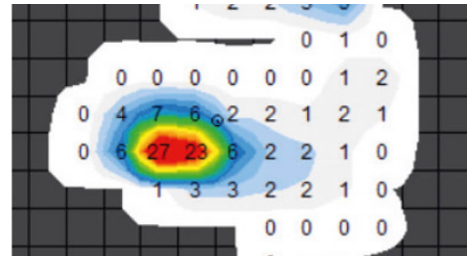
ダイヤモンドゾーン
ひし形のパターンが天候に左右されないグリップを提供します。



グリップゾーン
一本一本の指がそれぞれ確かなグリップを得られます。



円筒形のごく一般的な形状のグリップ：
円形であるために表面積は少なく、強く把持した際に広範囲に大きなプレッシャーが発生します。

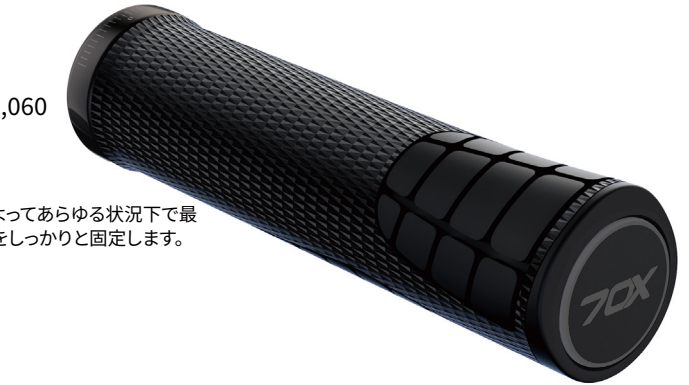
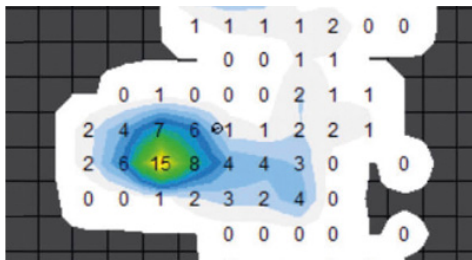


円筒形状を基本にしたエルゴグリップ：
エルゴ形状のデザインでもなお、基本が円形であるためにプレッシャーの分散ができていません。

オーエックス Grip 70X

Size	Length	Range	wight	
S	134.8mm	96.8mm	132g	¥5,060
M	134.8mm	101.4mm	155g	

新開発の衝撃吸収コンパウンドと、前面と下側のテクスチャゾーンによってあらゆる状況下で最適なグリップを提供します。クランプリングは、ハンドルに対しグリップをしっかりと固定します。繊維強化プラスチックの本体は安定感を向上させます。

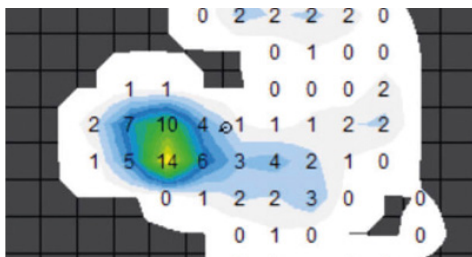


一見してオーソドックスな形状のグリップでありながら一般的なグリップと比較して発生するプレッシャーは大きく抑えられていることがわかります。

Grip 711 tech & trail 2.0

Size	Length	Range	wight	
S	134.8mm	98mm	114g	¥5,720
M	134.8mm	103mm	137g	
L	134.8mm	112mm	169g	

70Xに比べハンドルエンド側の外径、クッションが大きくなっており、顕著なテーパ形状になっています。肩幅より広く開いた腕でグリップを握る場合、外側が高くなっていることで手首が自然な角度をとれます。



一般的な円筒形のグリップと比較し、大きくプレッシャーが抑えられています。

70Xと比べゴムのコンパウンドは若干柔らかく、その分プレッシャーはさらに低くなっています。



本カタログに掲載の内容は2023年4月最新のものです。
製品のカラー、仕様、価格等予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ウインクレル 株式会社 SPORTS Division
Sports-w.com

〒231-0032
神奈川県 横浜市 中区 不老町 3-12-5 下山関内ビル4階